

ななむら

第58号

発行：照来地区公民館

責任者：館長

☎ 92-1738

令和2年4月1日現在

世帯数 537世帯

人口 1,501人

(男699人、女802人)

『照来地区公民館推進委員会』を開催！

3月24日（火）照来地区公民館において、「照来地区公民館推進委員会」を開催しました。

内容は、令和元年度の反省と令和2年度の事業計画についてご協議いただきました。

令和元年度の反省については、事業実施回数がまだまだ十分ではありませんが、目標としておりました、毎月定期的に行う事業が2つ「メディカルヨガ教室」と「ななむらうぐいす会」のカラオケ練習が実施できたことは成果のひとつかなと思います。

令和2年度の事業計画については、「小学校児童との交流」や「男の料理教室」、「飾り巻ずしづくり」等新しい事業をと考えておりますが、何と言っても新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、見通しがつかない状況にあります。しかし、何もしないではいけませんので、今、できることを考えたいと思います。

照来地区公民館長に再び就任！

3月31日をもって照来地区公民館長の任期（2年）が満了することに伴い、次の地区公民館長を選任いただくよう推進委員会に諮りましたが、残念なことに山本清孝がもう一期務めることとなりました。

照来には、私よりもより相応しい方がたくさんおられます。私のような者が館長になり停滞しないか非常に心配です。でも、なった以上そんなことは言っておられません。私なりにできることをコツコツとやってまいりたいと思いますので、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

地区公民館の鍵多過ぎでは？

協議事項のその他の項で、地区公民館の使用について、ご意見をいただきました。

その中で、「鍵を持っている方が10人以上いるというのは多過ぎる。これでは、地区公民館の管理はできないのではないか。」との指摘がありました。

確かにそのとおりだと思います。

今後は、現在、鍵を持っている方のリストをつくり、本当に必要な方のみ持っていただくようにしたいと考えています。

照来小学校の入学式が行われました！

4月8日（水）照来小学校の入学式が行なわれ、7名の児童が入学されました。新1年生の皆さん、保護者の皆さん、本当にご入学おめでとうございます。

前日の7日には、兵庫県を含む7都府県に新型コロナ特措法に基づく「緊急事態宣言」が発出され、大変心配されましたが無事行われました。

これで、本年度の照来小学校の児童数は54名となります。



しかし、残念なことに翌日から学校が休校となり、未だ登校できておりません。

また、16日の夜には「緊急事態宣言」が全国の都道府県に拡大され、益々、今後どうなるのか心配です。5月6日までとなっておりますが、まだまだ、時間がかかると思われます。そんな中、夏休みや冬休みが無くなるのではないかと、一日の授業時間が多くなるのではないとも言われています。そうなる子どもたちへの負担が大きくなります。



5月の事業予定

新型コロナウイルスの影響で、予定が立ちません。決定次第連絡いたします。



**「照来地区公民館」
使用できません！**

新温泉町では、4月7日の「緊急事態宣言」を受け、4月8日から5月6日までの間、地区公民館をはじめとする町内公共施設の使用ができなくなりました。

新温泉町にはまだ新型コロナウイルスの感染が確認されていませんが、隣の鳥取県では3名（4/19現在）の感染が確認されています。

いつ誰が感染するとも限りません。命に関わることです。地区公民館が使用できないことにご理解をお願いいたします。

**新型コロナウイルス
には負けない**

照来地区公民館に今できること

この新型コロナウイルスの影響で、照来地区内でもあらゆる事業が中止、延期を余儀なくされております。照来地区公民館も例外ではありません。

今、照来地区公民館として何ができるのか考えてみました。

事業が開催できないのであれば、何か地域の皆さんの役に立つ資料を作成してみてもとを考えました。

例えば、照来のことが一目でわかる「照来ミニハンドブック」の作成です。特に照来の子もたちに照来のすばらしさを知ってもらい、照来に住み続けたいと思ってもらえるようにできたらと思います。

館長の任期が終わるまでに作れたら・・・。

照来の歴史⑭ 多子 『くぐり池』

『但馬・温泉町の民話と伝説』に「くぐり池」のことが、次のように書かれていました。

『多子の「字池の上」という所に、くぐり池という三畝ほどの池がある。この池は鳥取県の大津池につづいていて、くぐり池で失った物が大津池で見つかることで不思議がられていた。

そのくぐり池近くに住む娘がいて、あるときそこを通りかかったお坊さんを一目見て好きになり、お坊さんも娘を心憎からず思った。けれどもお坊さんは修行の身、とても娘と一緒になれず、娘はそれを苦にして池に身を投げた。ところがお坊さんも池に身を投げた。村人は二人を哀れんで池の端の道にお地蔵さんをまつて供養した。くぐり池には、春になると、あやめやでべそ花という黄色い美しい花が咲く。大雨が降っても晴れた日がつづいても池の水かさは変わらず、照来の七不思議の一つに数えられている。』とあります。

この「くぐり池」伝説、多子の方々の話しによると、娘は「タネ」と言い、鳥取の国府町から多子の甚兵衛さんという長者のもとへ奉公に来ており、それはそれは綺麗な娘だったようです。タネは、奉公人の皆さんにいつも柿をご馳走していたようですが、奉公人の一人が不思議に思いタネの後つけてみると、タネは龍に変身してくぐり池に潜り大津池の島にある柿をもぎ取ってきて皆さんに振る舞っていたといひます。

正体がわかってしまったタネは、僧との恋仲のこともあり、池に身を投げたということです。哀れに思った甚兵衛さんが、供養塔と地蔵尊を建立したといひます。（右上の写真）

大津池はタネから名付けられたという話もあります。

また、鳥取県には、「くぐり池」と同じような伝説があり、大津池に伝わるいくつかの「大蛇伝説」や国府町に伝わる僧に恋をした長者の娘タネの話、同町の別の長者の奉公人だったタネが他の奉公人に柿を食べさせた話などがあります。



道端にある地蔵尊と供養塔



くぐり池全景